

株式会社 デンタル タイアップ

平成30年度 診療報酬改定対応型セミナー

新しい保険ルールに対してスタッフとしてできること

日時 2018年12月2日(日) PM 10:00 ~ PM 16:30

会場 広島県歯科医師会会館(広島市東区二葉の里3-2-4)

講師 国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 歯科口腔外科 : 富本 麻美 様

ご協力企業 株式会社ジーシー : 真辺 浩典 様

デンタルタイアップ 講師

代表取締役: 小原啓子 歯科衛生士: 畠山知子, 河野佳苗, 藤田昭子, 石田眞南, 西村奈緒美

セミナー風景



Seminar Report



Seminar Report



Seminar Report

概要

日本を取り巻く社会環境は目まぐるしく変化しています。

この度の4月の保険改定はその動きに対する対応であり、歯科医院はチーム一丸体制で取り組む必要があります。

この度の研修は、診療報酬の変更要点を確認し、考え行動すべき内容に再提案致します。

大阪開催での評価を受けて中国地区での開催いたしました。

歯科医療にとり組むための『基礎作り』を、他の歯科医院と一緒に考えました。

スケジュール	項目	主な内容・ねらい等
10:00	第1部 2018年診療報酬改定の特徴 スタッフが知っておくべき保険改定 (か強診・外来環) (代表・河野)	2018年度の診療報酬の改定の内容と特徴 かかりつけ強化型歯科医院・外来環の再届出でクリアすべきこと
	第2部 歯科疾患管理料の新設加算と算定要件 (株式会社ジーシー 真辺 様・河野)	小児の口腔機能管理 高齢者の口腔機能管理 評価法
	第3部 口腔内の見方と具体的なケアグッズの提案 (畠山)	資料を基にした治療計画をDrに確認する 撮影した口腔内写真、検査結果の資料を説明する
	昼休憩・写真撮影	
	第4部 歯科訪問診療の基本 第5部 病院歯科との連携(周術期) (国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 富本様・石田)	初めて訪問診療をする時の要点 病診連携 周術期・訪問診療の変更点
	第6部 治療計画と患者説明の再確認 セカンドカウンセリングの重要なポイント (藤田)	患者さんに合う歯ブラシの選択 目的別歯磨剤の薬効成分の理解 症例別の歯ブラシと歯磨剤等の選択
	第7部 症例検討 グループワーク (畠山・藤田)	各医院の治療計画と資料の確認
16:25	まとめ	

セミナー全参加者の声

訪問や周術期は全く未知なので、実際されている方の話を聞いてよかったです。改正された部分は今後やっていけるように勉強していきます。

本日はありがとうございました。幅広い内容で大変勉強になりました。帰ってもう一度復習いたします。

訪問診療の基本や周術期のケアの重要性など大変勉強になりました。また、歯磨剤の成分の比較等参考に患者様に合った商品をすすめていきたいです。

保険のルール等知らないことやまだまだ勉強不足なことが多かったので大変勉強になりました。これから訪問診療で取り込めそうなこともあったので、検討してみようと思いました。広い範囲でのセミナーだったので色々な知識を知ることができてとても楽しかったです。明日から取り組めることは実践していきたいです。

とても内容の濃いセミナーでした。普段聞くことのできない内容などもあり、とても勉強になりました。ありがとうございました。

周術期口腔機能管理、口腔機能低下症、ケアグッズ、(がん患者)、治療計画などさまざまな資料を提案していただいたので、再度院内で確認させて頂き取り入れる事が可能などところは、提案しカイゼンしていきます。ありがとうございました。

充実した内容で色々学べました。導入予定の内容もあったので、今後検討し取り入れていきたいと思っています。ありがとうございます。

Seminar Report

セカンドカウンセリングを導入するにあたってどのようにすすめたらよいか、他の医院さんで取り組まれているか聞いたかったのですが、なかなかしっかり導入できているところは少ないようでした。今回のセミナーを参考に少しずつ整理していきたいと思います。

セカンドカウンセリングについて改めて、どんな準備が必要でどういう流れでしていくかが理解できた。具体的なケアグッズについても知れて良かった。

歯磨剤の種類、用途など具体的に聞くことができたのでとても勉強になりました。色々聞いたのでもっと勉強していきたいと思える講義だったので良かったです。

本年からの新しい保険ルールに対して、今導入し始め、試行錯誤中です。ご指導宜しく申し上げます。

歯ブラシの特徴や歯磨剤の効用について改めて理解することができました。今後保健指導を行う時に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

歯磨剤の種類や効果などあまり良く知っていなかったのが、今日の講演で詳しく知ることができてよかったです。医院に持ち帰って今後患者さんに説明する時に役立てていきたいです。

保険料の事から口腔内ケア、セカンドカウンセリング、たくさんの事を勉強させていただきました。あいまいな知識だった部分が明確になり、勉強になりました。医院に帰って実行にうつれるところを行動していきたいです。ありがとうございました。

このような機会をいただきありがとうございました。少しずつ地域の周術期等口腔機能管理を充実させていけるように勉強会などができれば良いと思いました。

皆様からのご質問・回答

No.	項目	内容
1	質問	キシロカイン・アズノールカクテルを用いた口腔粘膜炎への対応は、主にどのタイミングで使用すると良いですか？
	回答	口腔ケアや、食事など疼痛を伴う処置や動作の5分くらい前に使用すると効果的なことが多いです。また、食事前の使用では、咽頭付近も麻痺するため誤嚥に注意してください。
2	質問	扁平苔癬に効果的な物がありますでしょうか？
	回答	アズノール軟膏は炎症を抑え、継続して使用できるのでよいです。また、疼痛を伴うような場合は、一時的にデキササルチン軟膏のようなステロイドの軟膏を使用されても大丈夫です。ただし、ステロイド長期使用や多量の使用は口腔カンジダ症の発症に注意してください。また、ワンタフトブラシのソフトなどでケアされると良いです。
3	質問	エナメル質初期う蝕の算定について年齢制限はありますか？
	回答	ありません。
4	質問	ケアグッズは各薬用成分で何種類ほどあるといいですか？
	回答	医院の独自性のある診療内容によって違うと思いますが、本日ご紹介したカテゴリーは5種類でした。歯科訪問や高齢者が多いと、保湿剤系も必要になります。できるだけシンプルな方が管理や指導がしやすいです。これらの商品は、良いものはどんどん改良されて出てきますので、デンタルショーやメーカーからの新情報にはアンテナを張って、院内で検討を重ねていきましょう。
5	質問	小児の口腔機能不全の評価・診断をした後の計画立案は同日にその場で行うのですか？また、別日に来院してもらって行うのですか？
	回答	理想的には、その場で行う事ができればと思いますが、予約時間やDr.との連携が必要となりますので、歯科医院での状況に応じてご対応頂ければと思います。
6	質問	Pの初期治療を終えてからの、C治療中のP管理の頻度と算定内容について
	回答	P初期治療を終えていても、C治療が継続されれば、その間も口腔内状況を管理することは大切です。少なくとも月1回はDHでの予約を取り、歯科衛生士実地指導を実施して算定することをおすすめします。

Seminar Report

7	質問	Dr.と治療計画を立てる時間がないので、どうすればよいか
	回答	<p>歯科医院で、打ち合わせをすることについての共通認識をお持ちいただくことが大切です。</p> <p>そのうえで、Dr と打ち合わせをするまでに、スタッフ個々で時間を作り、資料の準備や計画提案を検討しておくことは必要です。</p> <p>個々の時間は、作業の効率化を図り、無駄な作業や二重作業を省くことで生み出していきますので、歯科医院の現状を把握いただき、カイゼンのための5S活動を見直されることをおすすめします。</p>

アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。

